

長町病院 デイサービス再開!

「行くのが楽しみ!」と 言って頂けるデイサービスめざす

長町病院デイサービス 管理者 遠藤恵梨子

厚生協会だより



体操風景



脳トレ風景

8月1日より、長町病院デイサービスが再開しました。利用者定員数は1日15名。震災前の長町病院付属クリニックのデイサービスと規模は同じです。デイサービスの廃止を余儀なくされた震災、利用者様はじめ多くの方に「迷惑をおかけしました。」

2014年9月21日
第 327 号

発行
公益財団法人
宮城厚生協会

〒985-0835
宮城県多賀城市下馬
二丁目13番7号
TEL 022-361-1113
FAX 022-361-1124
発行人：横山公樹

2011年9月に若林クリニックデイサービスセンターを立ち上げました。しかし、デイサービスが多い激戦区。遠方への送迎、短時間利用者の受け入れ、営業活動などでしたが、利用者様が増えま...。長町病院南棟完成に伴い、若林クリニックデイサービスセンターを閉鎖し、3年で舞い戻って来ました。若林を利用されていた利用様全員、「ご希望により長町病院デイサービスへ移動となりました。職員も...と思っていたのですが、機能訓練指導員1名が直前の7月に仙台錦町診療所へ転勤。厳しい体制での



トランプ風景

新規立ち上げとなりました。大々的な宣伝は行なっていませんが、続々と新規利用の問い合わせがある状況に嬉しい悲鳴です。

デイサービスの 1日の流れ

午前は、ストレッチ体操、自主訓練、脳トレニング、リズムダンス(立位バランス訓練)、嚙下体操。午後は、筋力アップ体操、立ち上がり訓練、レクリエーション、グループワーク(トランプ、将棋など)と午前・午後ともに盛り沢山のメニューとなっております。ローテーションで体操を行なう職員のほうがへとへとになっている? 利用者様の体力には驚きです。

私たち職員は、利用者様が在宅での生活をイキイキと続けられるように、一人一人の状態に合わせた訓練を無理のない範囲で行なうお手伝いをしています。これからも利用者様に「行くのが楽しみ!」と言って頂けるデイサービスをめざしていきます。よろしくお願いたします。

泉病院事務長
就任にあたっての
ごあいさつ



数年後の
リニューアル
見据えて頼れる仲間と
共に歩んでいきたい

泉病院事務長 吉田 賢吾

「かえりなさい」と言ってくれ
る方も多くいて、とても不
思議でうれしい気持ちになりま
した。そのような中、日々周
りの方々に助けられながら
やっています。本当に感謝し
ています。

7月から泉病院で事務長に
なりました吉田賢吾としま
す。前の職場は医学対とい
うところで厚生協会の事務の
職場としてはハード？な部類
の部署にいました。また任に
就いて1ヶ月で、ありきたり
な表現ですが事務長とはこう
あるべきという自分なりの像
もぼんやりしていて、こんな
ことができます！と自信満々
に言うこともできません。た
だ幸いなことに泉病院での勤
務は2回目です。一度目は
2000年1月から2008
年11月まで働かせてもらって
おり今回も当時から知ってい
る職員が多くいました。「お

泉病院では、社会保障の圧
縮と削減、診療報酬改定や消
費増税など病院経営に大き
な影響を受ける中、数年後の
「リニューアル」を見据えて
います。私自身はそれを進め
ていく上で大切なのは泉病院
に関わる一人一人の人の力だ
と思っています。もちろん、
その一人一人には共同組織の
方々、地域の方々の力も大き
いと思っています。その力が
泉病院らしく十分に発揮され
るよう、特に対話を大切に
しながら取り組んでいきたい
と思います。
泉病院が今まで以上に地域

の中で信頼される病院とし
て、地域医療の一翼を担って
いけるよう、多くの頼れる仲
間と共に歩んでいきたいと考
えています。今後ともご支援・
ご指導の程よろしくお願い申
上げます。

古川民主病院事務長
就任にあたっての
ごあいさつ



地域に根ざし
民医連医療を实践するため
在宅医療の充実をめざす

古川民主病院事務長 佐藤 純生



おり従来の医療構造では、十
分な収益を確保できない環境
となっています。

古川民主病院では、厳しい
医師体制の中で3階「介護療
養病棟」、2階「障害者病棟
(一般病床)」として運用し、
外来は内科外来、成人病外来、
小児科外来、健診事業等を中
心に医療活動を行なってきた
ましたが、従来の医療活動を行
なっていたのでは今後収益を
確保する事が出来なくなり、
病院としての存在意義が大き
く問われてくる事態になりま

す。古川民主病院として、収
益を確保しつつ地域に根ざし
た病院として民医連医療を実
践するためにも、今後、在宅
医療の充実を進めていく事が
必要と感しています。
入院から在宅へ、施設から
在宅へと、国は医療・介護費
削減を目的とした施策を實行
し、多くの患者さんが自宅に
帰され在宅医療を必要として
くるでしょう。そういった中、
在宅管理患者数を従来の50件
から150件に増やし、安心
して在宅医療を受けられる事
ができて、必要に応じて入院
医療を提供できるように院内
の整備が必要不可欠になって
きます。従来からの医療活動
を大きく転換し、在宅医療を
すすめていくためには職員み
なさんのご理解とご協力が何
より必要であり大切になって
きます。

事務長として2カ月が経ち
ました。まだまだ事務長とし
て経験は浅いですが、大崎の
地で新たな古川民主病院の取
り組みに向けて精一杯がん
ばっていききたいと考えており
ます。

長町病院事務長
就任にあたっての
ごあいさつ



民医連らしい地域包括 ケアシステムづくりに 挑み続けたい

長町病院事務長 花木かよ子

兼務していました。家は、青葉区南吉成中学校区。夫と2女2男。現在、小学校の子ども会地区長をさせていただき、趣味は子育てとPTA活動?です。

長町病院の現状

7月から長町病院の事務長になりました。長町病院の管理部門は、院長、看護部長、事務長、副事務長2名となります。

自己紹介

私自身の自己紹介をします。愛知県豊田市に生まれ、名古屋の大学を卒業。東京民医連城南福祉医療協会大田病院に就職。結婚で仙台に北上。宮城県民医連事務局と坂総合病院勤務を経て、第1子産休あけから、長町病院に勤務。震災までは、長町病院附属クリニックの事務長、長町病院の副事務長、介護事業課課長を

す。種々兼務での事務長職で、1日があつという間に過ぎ去りますが、傾聴しつつ真摯に前進していきたいと思っ

厳しい情勢

厳しい情勢についても一言、医療・介護・福祉の在り方が社会情勢の変化で大きく変わろうという年を迎えています。安倍政権は2025年度を目標年度として、国会に医療法と介護保険法改定を一本化した「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する」法律（医療・介護総合法）案を提出し、審議不十分、国民への説明責任も果たさない（いつもですが）まま可決させました。法案には、患者・利用者の医療・介護サービスの利用を制限し、負担増を強いる内容が盛り込まれただけでなく、医療機関の新規開業抑制や医師、医療機関統制の法制化などが含まれています。医療法改定は今年10月、介護保険法改定は来年4月から順次施行する方針です。

住民や被災者の みなさんと 心一つにがんばる

制度がどのように変わろうとも、人の命の尊さ、生活が幸せでありたいという願いは常に時代を超えて当然のこととしてあります。厳しい情勢ですが、困難があつても立ち向かい、いつも希望を持ち、雨にもまけず、風にもまけずとがんばっている住民や被災者のみなさんと心を一つに、力を合わせ、皆様の健康を守り、病院の経営を守りながら、民医連らしい地域包括ケアシステムづくりに挑み続けたいと思っ



● 介護事業部からのお知らせ

訪問看護・介護事業所が10月1日からケアステーションとして、7事業所に再編されます。ケアステーションしおかぜ、つくし、いずみ、南光台、ながまち、郡山、あゆみ以上7か所となります。

BFH(赤ちゃんにやさしい病院)に 認定されました!

母乳育児を推進し 地域住民の健康を守る

4階産科病棟助産師 近江 暁子

BFH認定施設とは

8月2日(土)～3日(日)に熊本県で「第23回母乳育児シンポジウム」が行われ、聳え立つ熊本城を背景に、熊本市民会館で医師はじめ多職種の医療スタッフ、一般市民で約1千人が会場を埋め盛大到開催されました。今回のシンポジウムは「BFH認定授与式」ということもあり、院長、産科医、助産師、薬剤師、管理栄養士、事務の8名で参加しました。

WHOとユニセフが母乳育児の保護・促進・支援を目的に、世界のすべての産科施設に「母乳育児成功のための10カ条」を守るよう呼びかけた共同声明を、完全に実施している産科施設をいいます。今年度のBFH認定施設は全国で当院だけの認定で、全国では68施設目、県内では4施設目となりました。

授与式では、1963年に



BFH認定証

ピカソが「母性」というテーマで画いた絵画を認定証として受け取り、内藤院長の挨拶後、認定病院としての決意と今後の活動をふまえた抱負を参加スタッフ



あいさつする内藤院長と病院スタッフ

当院のBFH認定施設認定までの活動

一人一人が述べました。

2005年に「BFHチーム」を立ち上げ、それまでは出産した母子を中心に母乳育児支援を行なっていました。近隣のBFH施設の視察や母乳育児支援の研修や学習会を通して、多職種、他部署、地域との連携あつてこそその母乳育児支援であることを学びました。

それ以降「母乳育児を成功させるための10カ条」の実践継続と、各職場に母乳育児のよさを伝えるための出前講座、院内全体学習会や地域に出向いて母乳育児支援の知識の普及に努めBFHに関する活動の理解を求めてきました。その成果は確実に全職員

に伝わっていると「BFHがんばってるね」とか「母乳をあげてるお母さんが入院したので見てください」と他部署から紹介いただくことで日々実感することができました。

職員の方々は、今後もこれまで通り母乳育児のことなどで困ったことがあれば、いつでも4階病棟に紹介していただけたらと思います。

母乳育児を長く続けることは、母子の健康を守り、生活習慣病やさまざまな疾病のリスクを低下させることがわかっています。今後、BFH施設として、さらに母乳育児を推進し地域に発信していくことで、その広がりには地域住民の健康を守り当院の掲げる「安心して住み続けられる街づくり」に貢献できるものではないかと思えます。

今後の課題

現地調査の際に指摘された、当院の母乳育児の基本方針と理念の掲示方法や帝王切開での早期母子接触に関する問題等が改善点としてあげられています。これらの改善点を対処するために他部署との連携・協力が必要となります。ご協力よろしく願っています。

最後に、母乳育児が授けてくれるものは親と子の生涯をつむぎ、永遠に伝え続けられるもの、そして母子の持つ根源的な愛情であること、このすばらしい母乳育児をたくさんの方々が経験し、継続できるよう私たちは末長く寄り添いサポートし続けていきたいと思っています。今後ともよろしく願っています。



認定証を囲んで



ポスター展示コーナーにて

大崎でも(demo)脱原発金曜行動

7月に100回突破!

古川民主病院 組織課 只埜 斉

2011年の東日本大震災から一年が経った翌年の春、国内は脱原発への機運が一気に高まりました。首都官邸前では毎週金曜日の夜脱原発を訴えてアピールする「金官行」が週を追うごとに広まり、全国に波及し仙台でも7月から開催されるようになりました。

大崎でも(demo)

脱原発行動

できないか?

古川民主病院の立地する大崎でも(demo)脱原発の行動をできないだろうか?と模索する中、原水禁大会に行ってきた同僚が「広島の高橋を二人でデモ行進していた。もちろん警察の方もいた。」という話を聞きました。その言葉が後押しとなり、8月17日第一回目の集会が45名の参加で行われました。集会

では、会の代表を只埜が担い、次週以降アピール行進を行なうことを確認しました。行進は公園周辺を中心に、合同庁舎とイオンの周りを約30分かけて1.6kmを歩き再び公園に戻ってきます。

集会は「脱原発に賛同する方であればごなたでも」と呼びかけながら、8月29日の第105回までに2,301名の方が参加しています。

息子に「一緒に歩こう」とせがまれ

親子での参加も

これまでの参加者の中で紹介したいのは、毎回3階のアパートの窓越しに手を振ってくれる親子が、ある日息子に「一緒に歩こう」とせがまれアパートから終点までニコニコと満面の笑顔で一緒に行進してくれました。最初はデモを先導するパトカーに興



100回アピール行進

味を抱いていた息子さんですが、毎週の行進に部屋からライトを振って声援してくれました。その親子は今年の3月に旦那さんの転勤で埼玉に引越されました。

行進する上で大きな悩みの一つは、毎回県公安委員会に提出するデモ行進届けの費用発生でしたが、参加者に「100円募金」を募りながら何とか乗り切っています。また、病院・薬局・友の会の窓口に募金箱を置き、各種集会でも活動内容を報告しながらこれまで39万円を超える脱原発への熱い心(募金)が寄せられています。その募金の中から放射能測定器を購入し

地域内の土壌調査を行ない地域団体と共に対市長交渉も行っていきます。

本年7月25日には第100回目の「大崎demo」を開催し、これまで最高の80名超の参加者で大きく盛り上がりました。初参加者がとても多く、毎回20人前後で開催していますが、その何倍もの思いが集会に向けられていることを感じました。

原発廃炉運動を

全国的に更に

盛り上げたい

100回は一つの区切りではありますが原発が無くなっただけではありません。



100回集合写真



2014脱原発宮城アクションでも大崎demo

未だに終息の見通しのない福島第一原発、「きれいな福島を返せ!」「きれいな海を返せ!」と叫ばずに入られません。再稼働は許せません。継続開催していく中で、電力会社の方もこの運動を見守っていることが明らかとなりました。女川原発に近接する地域の運動として、この行進は非常に重要になっています。

この先何回続くかわかりませんが、毎週金曜日の行進だけでなく、原発廃炉署名や節電の取り組み等、原発いらない、原発廃炉運動を全国的に更に盛り上げていきたいと思えます。

僕とバイクと夏休み



長町病院リハビリ室 理学療法士 **高橋 秀和**

DUCATIスポーツ1000S

バイクに皆さんはどんな印象をお持ちですか。僕の乗っているバイクはDUCATIスポーツ1000Sという昔のスタイルを復刻させたバイクです。昔のバイクは形がかっこいいんですよね。日本車も含めて。

一つ前は古い川崎のバイクに乗っていましたが、古いだけにツーリングに行く度に止まっていました。止まるまでいかになくとも、何かしらのトラブルに見舞われては仕様がなないと愛着を持って直していましたが、ある時「もういいぜ。」壊れない新しいバイクが欲しい。そう思ったものです。

DUCATIの良さを伝えるとまず、ポジションがすごい。前傾し過ぎです。初めのころは10kmも走れば、肩はパンパン、首はバキバキになります。後ろに人を乗せれば、まるで子泣き爺にとりつかれているかようになります。そうです。筋トレに最適です。



ツーリングの1コマ



どれくらい前傾かといえばこれくらいです



左が高橋さん

その時感じる風が気持ちいい

そんな思いをしてでも、バイクに乗りたくなるのは何故でしょう。バイクには車とは違う加速感があります。その時に感じる風が気持ちいいんです。遊園地の絶叫マシーンが好きな人は分かりますよね。走っていると無になれます。仕事のストレスやあらゆる悩みを消してリセットしてくれます。本当です。皆さんも一度乗ってみてください。車や自転車とは世界がまるで変わりますよ。

もっと若いころ、どこまで遠くにいけるかチャレンジしました。とにかく南へ向かって走りました。その時は福島で飽きちゃいました(笑)。これを読んで、一緒に遠くに行ってくれる人が現れてくれたら嬉しいですね。ちなみに今年の夏休みは車で出かけました(笑)。

2014 日本のお祭り祭典 inみやぎ

11/22(土) 11/23(日) 11/24(月)

被災地の復興を促すため、感謝と連帯

- 復興を誓う音楽会**
11月23日(日・祝) セビオアリーナ仙台 (仙台市太白区あすと長町)
開演 13:00 開演 14:00 終演 17:15(予定)
●指定席 4,000円
●自由席 一般 3,500円 / 高校生以下・障がい者・介助者 2,000円
(自由席は必ず先着)
- みんなでたうたう会**
11月23日(日・祝) セビオアリーナ仙台
17:30 ~ 19:30 (予定) 参加費 / 500円
- 被災地企画**
11月22日(土)・24日(月・休)・25日(火)
仮設住宅「たうたう会」被災地視察ツアー
- 合唱発表会・オリジナルコンサート**
11月22日(土)・24日(月・休)
仙台市太白区文化センター 演奏室(5-6)ホール
日立システムホール仙台 (仙台市青葉区文化センター)
コンサートホール: シアターホール 他

主催: 2014日本のお祭り祭典inみやぎ実行委員会
実行委員長: 樋口 隆一 (仙台市)
●合唱発表会・オリジナルコンサートは、日本のうたごえ全国協議会の主催です。

TEL: 022-281-8771 (事務局)
FAX: 022-261-6290
E-mail: miyagifestival@doc.jp
HP: http://miyagifestival.com

音楽会プログラム

11月22日(土) 11月23日(日) 11月24日(月)

呼びかけ人
長崎 誠 (長崎県長崎市長崎南小学校)
高田 啓 (仙台市立第一中学校)
大石 健 (仙台市立第一中学校)
長井 悠太 (仙台市立第一中学校)
山本 隆一 (仙台市立第一中学校)
山本 隆一 (仙台市立第一中学校)
山本 隆一 (仙台市立第一中学校)

11月22日(土) 11月23日(日) 11月24日(月)

2014 日本のお祭り祭典inみやぎ日程

11月22日(土)	合唱発表会 (一般の部)	仙台市立太白区文化センター	12:00 ~ 13:00
	合唱発表会 (小学生の部)	仙台市立太白区文化センター	13:00 ~ 14:00
	合唱発表会 (中学生の部)	仙台市立太白区文化センター	14:00 ~ 15:00
	合唱発表会 (高校生の部)	仙台市立太白区文化センター	15:00 ~ 16:00
11月23日(日)	復興を誓う音楽会	セビオアリーナ仙台	14:00 ~ 17:15
11月24日(月)	合唱発表会 (一般の部)	仙台市立太白区文化センター	10:00 ~ 11:00
	合唱発表会 (小学生の部)	仙台市立太白区文化センター	11:00 ~ 12:00
	合唱発表会 (中学生の部)	仙台市立太白区文化センター	12:00 ~ 13:00
	合唱発表会 (高校生の部)	仙台市立太白区文化センター	13:00 ~ 14:00

11月25日(火) 仮設住宅「たうたう会」被災地視察ツアー